

指導内容系統表例（社会科，地歴・公民科）

単元「江戸幕府の成立」

		小学校	中学校	高等学校
指導内容	学習指導要領の内容	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の始まり，大名行列，鎖国，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学，について調べ，身分制度が確立し武士による政治が安定したことや町人の文化が栄え新しい学問が起ったことが分かること。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子を通して，江戸幕府の政治の特色について考えさせる。その際，鎖国下の対外関係に気付かせる。 「鎖国下の対外政策」については，オランダ，中国との交易のほか，朝鮮との交流や琉球の役割についても扱うようにすること。また，北方との交易をしていたアイヌについても着目させるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕藩体制の特質については，農村・農民に対する支配の特色，経済的基盤，封建的な身分制度の形成などを，それらの政治的，社会的な背景や役割と関連させて理解させる。 鎖国政策については，幕府による貿易体制の強化や禁教の徹底という側面と，それは対外貿易の完全な断絶を意味するものではなく，オランダとは長崎，中国とは長崎及び琉球，朝鮮とは対馬，北方貿易は松前藩やアイヌを通してそれぞれ交易があったことに留意させる。
	指	<ul style="list-style-type: none"> 三河の小さな大名だった家康は，信長，秀吉と同盟して力を伸ばし，<u>関ヶ原(岐阜県)の戦い</u>で，全国の大名を従える。 <u>1603年，家康は，征夷大將軍に任命され，江戸(東京都)幕府を開く。</u> 家康は，大阪城を攻めて<u>豊臣氏</u>を滅ぼす。 <u>武家諸法度</u>を定めて，全国の大名たちの行動を取り締まった。 親藩，譜代，外様に大名を区別し，幕府にとって都合の良い地域に配置した。 <u>家光</u>～大名を1年おきに領地と江戸に滞在させる<u>参勤交代</u>を定めた。大名にとっては重い負担 全国の4分の1の幕府領 交通の整備～<u>五街道</u>(<u>東海道</u>，<u>中山道</u>，<u>甲州街道</u>，<u>日光街道</u>，<u>奥州街道</u>)など 	<ul style="list-style-type: none"> 1600年，家康は，石田三成らを<u>関ヶ原(岐阜県)の戦い</u>で破る。 <u>1603年，家康は，征夷大將軍に任命され，江戸幕府を開く。</u> 1615年，<u>豊臣氏</u>を滅ぼす。(大阪の陣) 大名は1万石以上の領地を与えられた武士で，その支配の仕組みを藩と呼ぶ。 幕藩体制～幕府と藩が全国を支配する仕組み，大名の配置の入れ替え 幕府の直轄地は，約400万石(京都や大阪などの貿易や交通の要地，佐渡金山等の鉱山) <u>五街道</u>(<u>東海道</u>，<u>中山道</u>，<u>甲州街道</u>など)を整え，関所や宿場を支配する。 <u>武家諸法度</u>～大名が守るべききまり <u>家光</u>は大名の力を弱めるために，大名を1年おきに領地と江戸に滞在させる<u>参勤交代</u>を定めた。 禁中並びに公家諸法度～天皇や公家が守るべききまり 	<ul style="list-style-type: none"> 五奉行の一人で豊臣政権を存続させようとする石田三成と家康との対立が表面化し，1600年に関ヶ原で激突した。<u>(関ヶ原の戦い)</u>。 <u>1603年，全大名に対する指揮権の正統性を得るため征夷大將軍の宣下を受け，江戸に幕府を開いた。</u> 家康は<u>豊臣氏</u>が建立した方広寺の鐘銘を口実に，戦いをしかけ1614～15年，大坂の役(大坂冬の陣・夏の陣)で滅ぼした。 幕府は<u>武家諸法度</u>を制定して大名を厳しく統制した。<u>家光</u>は1635年に寛永令を發布し，その中で，大名には国元と江戸とを1年交代で往復する<u>参勤交代</u>を義務付け，大名の妻子は江戸に住むことを強制された。 江戸・大坂・京都の三都を中心に各地の城下町をつなぐ全国的な街道の網の目が完成した。特に江戸を起点とする，重要な幹線道路である<u>五街道</u>は幕府の直轄下に置かれた。
	押さえておき	<ul style="list-style-type: none"> 海外との貿易がさかんで，日本の商人が東南アジア各地に出かけ，<u>且本町</u>ができる。 幕府は，キリスト教を禁止し，家光のころには，日本人が海外に行くことも，帰ることも禁止する。 <u>1637年，天草四郎を中心に島原・天草一揆</u>が起こる。この後キリスト教の取り締まりを強める。(絵ふみ) 貿易の相手をオランダと中国に限り，<u>長崎の出島</u>だけで貿易を行った。<u>(鎖国)</u> 朝鮮との国交が回復し，朝鮮からの使節団(<u>朝鮮通信使</u>)が幕府を訪問する。 沖縄～<u>琉球王国</u>が成立し，中国・朝鮮・日本との貿易の中継地として栄える。独自の文化 <u>薩摩藩の支配</u> 北海道～<u>アイヌの人たちの居住地松前藩</u>との不利な取引に<u>シヤクシヤイン</u>を中心に立ち上がるが敗れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家康は，朱印状を日本の商船(朱印船)に与え，外国との貿易を行う。東南アジア各地で貿易を行い，<u>且本町</u>ができる。 1612年，家康は禁教令を出す。 絵踏を行いキリスト教徒を見付け，キリスト教徒でないことを仏教の寺に証明させた。 1635年，日本人の海外渡航を禁じる。 <u>1637年，天草四郎を中心に島原・天草一揆</u>が起こる。 1639年，ポルトガル船の来航を禁じ，ヨーロッパの貿易相手国は，<u>オランダのみ</u>となる。(後に鎖国と呼ばれる。) <u>長崎の出島</u>～<u>オランダ</u>との唯一の貿易港 中国では，清が支配 <u>長崎で幕府と貿易</u> 朝鮮とは，対馬の宗氏が交流の窓口 幕府に<u>通信使</u>を派遣 <u>琉球王国</u>では，<u>薩摩藩</u>の島津氏が支配 中国へ朝貢 独自の文化 蝦夷地では，<u>アイヌの人たちが松前藩</u>との不利な取引に<u>シヤクシヤイン</u>を中心に立ち上がるが，敗れる。独自の文化 	<ul style="list-style-type: none"> 朱印船貿易が盛んになると，海外に移住する日本人も増え，南方の各地に自治制をした<u>且本町</u>がつけられた。 1612年，直轄領に禁教令を出し，翌年これを全国におよぼして信者に改宗を強制した。 1635年，日本人の海外渡航と日本人の帰国を禁止し，中国船の寄港を長崎に限った。 <u>1637年，島原の乱</u>がおこった。<u>益田(天草四郎)時貞</u>を首領にして原城跡にたてこもった。 1639年，ポルトガル船の来航を禁止した。 1641年，平戸のオランダ商館を<u>長崎の出島</u>に移す。<u>(鎖国状態)</u> 1688年，清船の来航を年間70隻に限り，長崎の町に雑居していた清国人の居住地を限定するため，唐人屋敷を設けた。 対馬藩主宗氏は対朝鮮貿易を独占することが認められた。朝鮮から12回使節が来日した。<u>(通信使)</u> <u>琉球王国</u>は<u>薩摩藩</u>の支配下に入った。 <u>アイヌ</u>集団は<u>シヤクシヤイン</u>を中心に<u>松前藩</u>と対立し戦闘を行ったが服従させられた。
	内的	<ul style="list-style-type: none"> 武士～<u>民衆を支配した身分 名</u> <u>名</u> <u>字</u> <u>刀を差したりする特権</u> 村に住む人々(農民など)や町人は，武士の生活を支える身分 村～村役人を中心に運営 <u>五人組</u> 農民に対するおふれ書き 町～町役人を中心に運営 村に住む人々や町人とは区別された人々もいた。これらの人々は，きびしい差別を受けながらも，すぐれた技術を使って人々の生活に必要な用具を作ったりして社会を支えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 武士～<u>民衆を支配した身分 名</u> <u>名</u> <u>字</u> <u>帯刀</u>などの特権 百姓～年貢を納める本百姓と耕地を持たない水呑百姓に分けられた。四公六民等の高い税率 名主(庄屋)，組頭，百姓代などの村役人 <u>五人組</u>制度を設け，年貢の納入を徹底させた。 町人～営業税(負担は比較的軽い。) えた・ひにんの身分とされた人もいた。これらの人々は，くらしのうえで，様々な差別を受けながらも，犯罪者の取り締まりや刑の執行を行うなど社会を支える役割を果たした。 	<ul style="list-style-type: none"> 武士とは<u>政治や軍事を独占し，苗字・帯刀のほかさまざまの特権をもつ支配身分</u> 被支配身分として百姓は，本百姓が村を運営し，幕府がその自治に依存して，年貢の割り当てや収納を実現し，村民を掌握できた。村方三役を中心に<u>五人組</u>に編成させられていた。 えたとされた人々は，農業を行い，皮革製造や牛馬の処理などをしいられた。非人とされた人々は，村や町の番人や清掃・芸能に従事した。これらの人々は，様々な差別を受けながらも，社会を支える役割を果たした。
容	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見付ける力 資料を活用し表現する力 自ら考え判断する力 	<ul style="list-style-type: none"> 家康や家光はどのようにして徳川幕府の仕組みを整えたか，その働きについて課題意識をもつ。 遺跡や文化財，各種の基礎的資料を活用し，家康・家光の働きや代表的な文化遺産を中心に調べ，分かりやすく表現することができる。 家康や家光が行った政治の特色について多面的に考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕府の成立とその諸政策を通して，江戸幕府の政治の特色は何かについて課題意識をもつ。 様々な資料を収集し，適切に選択・活用することで，江戸幕府の政治の特色について調べ，分かりやすく表現することができる。 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子を通して，幕府政治の特色を多面的・多角的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立や封建的な身分制度の形成を通して，幕藩体制の特質とは何かについて課題意識をもつ。 様々な資料を収集し，適切に選択・活用することで，幕藩体制の特質について調べることができる。また，対外関係について世界の動向と関連させて調べ，分かりやすく表現することができる。 江戸幕府の政治・経済の特色を，当時の時代背景や対外関係を通して，多面的・多角的に考察することができる。
活用例	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教の伝来や信長・秀吉の天下統一について学習したことを基に，江戸幕府が行った鎖国のねらいについてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での江戸幕府の始まり，大名行列の学習について想起させながら，江戸幕府が大名を統制するとともに領内の政治に責任を負わせたことなどの政治の特色について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校での鎖国政策の学習について想起させながら，江戸幕府の鎖国政策が社会や文化などに及ぼした影響と歴史的意義をヨーロッパ諸国のアジア進出をめぐる動きや東アジアの動向と関連させて理解させる。 	

~~~~~ 小・中・高いずれにも出てくる重要事項